

「ますように」

— 願望表現の1つとして —

***-Masu youni* as a Form that Expresses the Speaker's Desire**

高 梨 信 乃
Shino Takanashi

This paper discusses uses of the Japanese expression *-masu youni*, which is a form that expresses the speaker's desire in the form of a prayer, and derives from one usage of the subordinate clause *-youni*. *-Masu youni* is used as a sentence final or it can occur in the form of a quote together with the particle *to*. It is never connected to any kind of modal or sentence-final particle. It can be used to express desire for a proposition that is concerned with the speaker, for a proposition that is concerned with the hearer, or for a proposition that is concerned with the third party. However, it is not suitable to express desire that involves discontent or worry.

キーワード：

「ますように」、願望、祈り、祈願、「といい」

Keywords:

-masu youni, desire, prayer, *-to ii*

1. はじめに

現代日本語において話し手がある事態の実現を願うことを表す表現として、(1)のようなものがある。

- (1) a. 海外旅行に行きたい。
- b. コロナ禍が早く収まってほしい。
- c. コロナ禍が早く収まるといいな。
- d. コロナ禍が早く収まらないかな。
- e. コロナ禍が早く収まりますように。
- f. コロナ禍よ、早く収まれ！

これらの表現の呼び方には「希望」、「願望」、さらに「祈願」((1e)・(1f))などがある。しかし、これらのうちのどの範囲を指して何と呼ぶかは、研究者や文献によって異なり、用語が混乱している。

ここでは、高梨(2022)と同様に、話し手自身の行為の実現を願う表現である(1a)を希望表現、話し手自身の行為ではない事態の実現を願う表現(1b)～(1f)を願望表現と呼ぶことにしたい。

これらの表現は、従来の文法研究において、個別に考察もしくは言及されることはあっても、包括的に扱われることはなかったと思われる(高梨2022)。

希望表現や願望表現を用いた(1a)～(1f)のような文は、「うれしい!」などの文と同様に、「話し手の感情や感覚が、聞き手への伝達性を帯びることなく、自発的に発話される(日本語記述文法研究会2003:19)」文、すなわち表出的な文である。一方、これらの表現は、広い意味で事態の望ましさを表す点で、「べきだ」などの形式に代表される評価のモダリティと共通する点をもつ(益岡2006、高梨2010)。さらに、希望表現(「したい」)は意志のモダリティ(「しよう」など)と近い側面があり(徐2001、宮崎2006)、願望表現は依頼などの行為要求のモダリティとも関連する(高梨2020)。

こうした多様な側面をもつ希望表現・願望表現を、日本語の文タイプもしくはモダリティとの関連でどのように位置づけるべきか、本格的な考察はまだなされていないと思われる。さらに、願望表現(1b)～(1f)は互いに接近した意味を表すと言えるが、これらの間にはどのような違いがあるのだろうか。これらと比較するような研究も、管見の限り見当たらない。

本研究では、特に願望表現の包括的記述を将来の課題としつつ、その中から(1e)のような「ますように」を取り上げる。

2. 先行研究および本研究の立場

2.1 先行研究

西欧語においては、(2)のようなものが祈願文(optative sentence)と呼ばれることがある。

(2) May God bless you! (あなたがたに神の祝福があらんことを)

一方、日本語の研究では祈願文という用語はあまり用いられないようである。

現代日本語における「神の祝福がありますように」のような祈願(祈り)の文を、伝達的な機能から見た文のタイプとしてどう位置づけるのか。たとえば、仁田(1991)における〈発話・伝達のモダリティ〉の4分類に位置づけるとすれば、意志、願望などを表すとされる〈表出〉に含めることになるだろう。奥田(1985)の「文の通達的なタイプによる分類」であれば、まちのぞみ文に含めることになると思われる。

表1 仁田(1991:23)〈発話・伝達のモダリティ〉の分類

テンスの分化	あり	なし
言表事態めあてのモダリティ		
聞き手の在・不在	判断系	待ち望み系
聞き手存在	問いかけ	働きかけ
聞き手不在可	述べ立て	表出

(3) 奥田(1985:41)文の通達的なタイプによる分類

- I のべたてる文 1)ものがたり文 2)まちのぞみ文 3)さそいかけ文
 II たずねる文

日本語の文のタイプとして、願望文が立てられる場合はあるが、それらと区別して祈願文(祈りの文)を立てる立場の研究はほぼ見当たらない¹⁾。

一方、文のタイプ分けという立場とは異なるが、願望と祈りを区別して記述しているものとして、林(1960(2013復刊))が注目される。ここでは「結び文型」のうちの「表出段階の表現型」における「期待、願望、うらみ等の表出」を表すものを列挙する中で、「たらなあ」「ばなあ」「たらいい」「ないか」などの【希求、あこがれ】の類とは別に、【実現への祈り】という類が立てられている。

(4) 【実現への祈り】

○ように ◎〈どうか〉-{スル、イ、ナ}のように；〈どうか〉-{シ、×、×}
 ますように。どうか役目が果せますように。船が無事でありますように。

(林 2013:126)

また、吉川(2007)は、インターネット上のサイトであるが、「祈りの文型」という項目を立てている。吉川(2007)は、「ますように」で終わる文を「一つの「表現文型」とし、「各人の願望が祈りの形であらわされたもの」としている。その上で、その用い方について以下の基本的な点を述べている。

(5) 文型は、動詞のマス形+「ように」である。

- 夢が叶いますように。

形容詞、形容動詞、名詞の場合は、マス形をとる動詞を探してきて、つなげる。

- 素晴らしい1日になりますように。
- 世界人類が平和でありますように。

「～ませんように」は、「～ない」ことを願望する意味になる。

- 敵に見付きりませんように。

(吉川 2007)

以上、少数ながら、文型として「祈り」というタイプを立て、そこに「ますように」を位置

づける立場があることを確認した。

続いて、「ますように」を接続表現「～ように」の用法の中に位置づけている先行研究を見たい。

グループ・ジャマシイ (1998) は、【ように3】の用法として〈目的〉〈勧告〉とともに〈祈願〉を立て、次のように記述している。

(6) V-る / V-ない よう (に) 〈祈願〉

(1) 息子が大学に合格できるよう神に祈った。

(5) どうか合格できますように。

(6) すべてがうまくいきますよう。

自分や他者にとって、望ましいことを祈ったり希望する表現。「ように」の後には「祈る」「祈念する」「念じる」「望む」「願う」「希望する」「期待する」などの動詞が用いられる。(5)(6)のように、「…よう (に)」で終わることもある。その場合は「…ように」の前に丁寧体の表現が用いられるのが普通。スピーチや手紙の締めくりなどでよく用いられる。(グループ・ジャマシイ 1998: 622 例文は一部省略)

(6) では、「ますように」が〈祈願〉を表す従属節「～ように、……」とのつながりにおいて記述されている点が注目される。

続いて、「ように」という形式の包括的な研究である前田 (2006) を見る。前田 (2006) は、従属節の「ように」(以下、「ように」節) を以下のように4分類する。

表2 「ように」節の4分類

主節に対して	
修飾・付加的	必須・補足的
〈類似事態〉 ・彼はささやく <u>ように</u> こう言った。	〈思考・知覚内容〉 ・この答えは間違っている <u>ように</u> 思う。
〈結果・目的〉 ・列車に間に合う <u>ように</u> 早く起きた。	〈命令・祈願内容〉 ・彼にそこに行かない <u>ように</u> 言った。

(前田 2006: 4 例文は筆者が追加)

これら4分類のうち「ますように」と関わるのは〈命令・祈願内容〉の「ように」節である。前田 (2006) は、このタイプの「ように」節について、(7)のように主節動詞とともに整理した上で、いずれのタイプも「いわば話者の願望・当為的なまちのぞみの内容」を表す点で共通していると指摘している。

(7) 命令・祈願内容およびそれと同類の「ように」節

= 願望・当為的なまちのぞみの内容を表す

① 命令・依頼………言う・命令する・勧める・指示する・説得する……

頼む・依頼する・願う・注意する……

「ますように」(高梨)

② 祈願……………願う・祈る・望む・期待する……

③ 勧誘……………誘う

④ 努力……………努める・努力する・心掛ける・約束する…… (前田 2006 : 70)

その上で、前田(2006)は、〈命令・祈願内容〉の「ように」節から広がった用法として(8)のような「命令・祈願を表す文末用法」に言及している。

(8) a 明日までに1000円用意するように。(命令)

b 息子が無事戻ってきますように。(祈願) (前田 2006 : 60)

さらに、命令と祈願の相違点として、主節動詞の意味の違い、従属節の主体の人称制限の違い(命令の場合は発話時の二人称、祈願には制限なし)、そして、命令では「動詞のル形+ように」であるのに対し、祈願では「マス形+ように」となるという違いを指摘している。

このように、前田(2006)では、「ように」という形式がもつ幅広い用法が、それら相互の連続性も含めて記述されており、その中で「ますように」が占める位置が明確に示されている点が意義深い。

2.2 本研究の立場

以上、「ますように」に関する先行研究を概観した。

「ますように」が「祈りの文型」のように呼ばれることがあるのは、信仰の対象に向かってまさに祈る際に用いられる表現であるためであり、これは「ますように」の重要な特徴である。しかし、一方「ますように」は、祈りを向ける特定の対象なしに、ある事態が実現することを願う場合に用いられることもあると思われる。そして、その2つの用い方、すなわち祈りと願望を区別することは可能であろうか。祈りといっても、声に出して祈る場合もあれば、心の中で祈る場合もある。祈りと願望は人の行いとして連続的であり、明確に区別することは困難だと考えられる。

そのため、本研究では両者を区別しない立場をとる。「ますように」を、いわば祈りの形をとった願望表現として、願望表現の中に位置づけて考察することにする。

なお、前田(2006)でも指摘されているが、「ますように」の「に」は省略可能である。「ますよう」の例も「ますように」に含めて扱うこととする。また、ここでは事態が実現しないことを願う「ませんように」は考察対象に含めない。

以下では、願望表現「ますように」について詳しく見ていくが、調査資料としては「現代日本語書き言葉均衡コーパス(以下、BCCWJ)」を用いる。その理由は、「ますように」が主として書き言葉で用いられる表現だと考えられるからである²⁾。

なお、「ますように」の特徴を捉えるため、ほかの願望表現の中から「といい」を取り上げ、両者を比較しつつ考察することにする。

3. 比較対象 — 〈願望〉の「といい」—

ここで「といい」について、高梨 (2010) をふまえ、簡単に見ておきたい³⁾。

「といい」は評価のモダリティ形式の1つであり、その基本的意味は「当該事態を単純に望ましいものとして評価する」である。

「といい」が〈願望〉を表すことになるのは、(9)のように、当該事態が制御不可能で未実現の場合である。一方、当該事態が制御可能な場合は〈願望〉の意味は生じない。たとえば、(10)では、当該事態が制御可能であるため〈当為判断〉の意味が生じ、さらに行為者が二人称であることから〈勧め〉として機能することになる⁴⁾。

(9) 「新しい街に、またすてきな給食室があるといいですね」(高梨 2010: 61)

(10) 「長浜へ行ったら、絶対に替え玉っていうのをやるといいわよ」(高梨 2010: 60)

なお、「といい」は動詞のほか、形容詞、名詞 + 「だ」にも接続する。いずれも非過去形をとる。

(11) この町がずっと平和だといいね。(形容詞)

(12) 明日、いい天気だといいな。(名詞)

〈願望〉の「といい」について概観した。以下、BCCWJを用い、〈願望〉の「ますように」を「といい」と比べながら考察していく。

4. BCCWJにおける「ますように」の出現状況 — 「といい」との比較 —

4.1 調査方法

4.1.1 「ますように」

BCCWJの全データを対象とし、検索ツール「中納言」の短単位検索を用いた⁵⁾。以下、検索条件を述べる。キーに語彙素「様」・品詞「形状詞」、前方共起(キーから1語)に語彙素「ます」を指定して検索した。検索結果は2,331件であった。

ここで本研究の考察対象を確認する。

まず、「ますように」の用例のうち、文末用法の「ますように」(「ますよう」を含む)を取り出す。その際、(13)(14)のように、文末の言い切りで用いられているもののほか、(15)のように会話文に現れたものや、(16)(17)のような「と」を用いた引用の場合も、文末用法に含めて扱う。

(13) これから向かう道が、笑顔であふれるまに続きますように。(広報誌)

(14) 寒さの中、ご自愛くださいますよう！(ブログ)

(15) なお、「はい。少々、お待ち下さいますよう」実直そうな老僕は、すぐに引き返し、小兵衛を丁重にみちびき入れた。(文学)

- (16) この一年で親の想像以上に心も体もたくましくなった秋雪。これからも楽しい学園生活が続きますように、毎日が幸せでありますように、と願った。(文学)
- (17) もしまだでも、願ってます。君が幸せになれますようにと……。 (ブログ)
- 一方、(18)(19)は前田(2006)のいう〈命令・祈願内容〉、(20)は〈結果・目的〉の「ますように」と考えられ、考察対象外となる⁶⁾。
- (18) 来年が皆様にとって素晴らしい年でありますように心からお祈りいたします。(ブログ)
- (19) この機会にぜひ冬の北海道へお越しく下さいますようお願い申し上げます。(ブログ)
- (20) よいお産がおできになりますよう、毎日、リラックスタイムを作ることを心掛けて下さい。(文学以外)

検索結果2,331件を目視により分類したところ、文末用法の「ますように」(「ますよう」を含む)は954件抽出された。

次に、文末用法の「ますように」における2つの用法に注目する。

本研究で注目しているのは、(21)のような〈願望〉の「ますように」である。が、注意を要するのは、〈願望〉のほかに(22)のような〈行為要求〉と言うべきものもあることである。

- (21) お正月も2日目、お天気は快晴ですが参拝客は極わずかでした 今年も明るく希望の年でありますように！(ブログ)〈願望〉
- (22) 今日から、家を留守にするため5日間、おやすみいたします。十一日の朝に、お会いいたします。寒さの中、御自愛くださいませよう！(ブログ)〈行為要求〉

前述のように、前田(2006)は「ように」の文末用法に祈願(本研究での〈願望〉)と命令(〈行為要求〉)があることを指摘している。前田(2006)では、祈願の場合「マス形+ように」、命令の場合「動詞のル形+ように」の形をとるとされているが、用例を観察すると、「ますように」の中にも(22)のように〈行為要求〉とすべきものが含まれていることがわかった。(23)～(25)も同様である。いずれも丁寧さや改まりを伴った依頼の表現となっている。

- (23) 「はい。少々、お待ち下さいますよう」実直そうな老僕は、すぐに引き返し、小兵衛を丁重にみちびき入れた。(文学、『陽炎の男』)
- (24) 客が茶室に入り、着座しますと、亭主は茶道口を開け、花所望する理由を述べて、正客に「花を生けていただきますように」と所望します。(文学以外、『習事八箇条』)
- (25) どうか 来年もよき年でありますようそして 拙いブログにお付き合い頂きますよう チュー心より お願いモーし上げます(ブログ)

〈願望〉と〈行為要求〉の用例数は表3のようである。

表3 BCCWJにおける文末用法の「ますように」

〈願望〉	886
〈行為要求〉	68
計	954

以下では〈願望〉の「ますように」886件について見ていくことにする。

4.1.2 「といい」

次に「といい」の検索条件を述べる。キーに語彙素「と」・品詞「接続助詞」、後方共起（キーから1語）に語彙素「良い」を指定して検索した。検索結果は5,382件であった。うち、複文（「～と、いい……」）とみなせるものや誤解析303件を除いた5,079件が評価のモダリティの「といい」である⁷⁾。

5,079件を目視により〈願望〉と〈当為判断〉に分類したところ、表4に示す内訳となった。

表4 BCCWJにおける評価のモダリティの「といい」

〈願望〉	1,362
〈当為判断〉	3,717
計	5,079

〈当為判断〉の「といい」とは、たとえば、(26)～(28)のようなものである。

- (26) 新撰組を全体に理解するには、「燃えよ剣」を読むといい。(ブログ)
- (27) 何かかつぜつをよくする方法はないでしょうか？ 自分の声を録音して聞いてみるといいですよ。(知恵袋)
- (28) ストレスに弱く、胃腸病になりやすい人、あるいはすでに発病している人は、キャベツを常食するとよいでしょう。(文学以外、『抗がん食品事典』)

本研究が目指すのは〈願望〉の「といい」である。ただし、1,362件のうち、(29)(30)のような、事態が実現しないことを願う「ないといい」92件は除外した。これは、「ませんように」を考察に含めないことに合わせるためである。

- (29) 事故がないと良いですね。(ブログ)
- (30) 明朝まで悪くならないといいですね。お大事に。(知恵袋)

したがって、考察対象とする〈願望〉の「といい」は、1,270件となる。

4.2 結果の概要

まず、BCCWJにおける〈願望〉の「ますように」の出現状況を〈願望〉「といい」とともに見てみよう。両形式の〈ジャンル〉別出現状況を並べて示したものが表5である⁸⁾。〈ジャンル〉ごとにデータ量（総語数）が異なるため、100万語あたりの出現率（PMW）も示す。

表5 BCCWJにおける〈願望〉の「ますように」と「といい」の出現状況

〈ジャンル〉	総語数	「ますように」		「といい」	
		出現数	PMW	出現数	PMW
文学	20,139,268	135	6.7	228	11.3
文学以外	42,533,142	134	3.2	117	2.8
雑誌	4,444,492	14	3.1	29	6.5
新聞	1,370,233	1	0.7	2	1.5
白書	4,882,812	0	0.0	0	0.0
広報誌	3,755,161	14	3.7	17	4.5
法律	1,079,146	0	0.0	0	0.0
国会会議録	5,102,469	1	0.2	7	1.4
教科書	928,448	2	2.2	9	9.7
韻文	225,273	0	0.0	1	4.4
知恵袋	10,256,877	85	8.3	438	42.7
ブログ	10,194,143	500	49.0	422	41.4
計	104,911,464	886	8.4	1,270	12.1

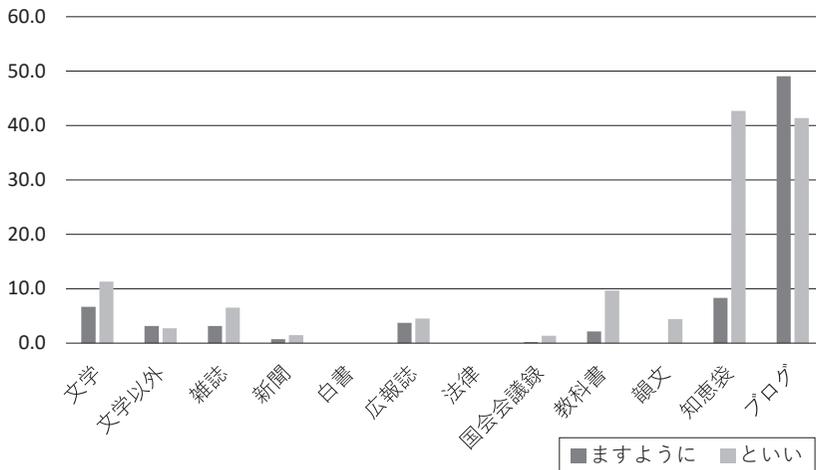


図1 BCCWJにおける〈願望〉の「ますように」と「といい」の出現状況

表5・図1からわかるように、〈願望〉の「ますように」のBCCWJ全体での出現数は、「といい」より少なく、「といい」の3分の2強である。「ますように」と「といい」は〈ジャンル〉別の出現率についても異なりが見られるが、特に注目されるのは、知恵袋において両者の出現率の差が大きく、「といい」が「ますように」の5倍程度も見られることである。一方、ブログでは、「ますように」のほうが若干多いことも見て取れる。

以下では、これらの用例を材料として、〈願望〉の「ますように」にどのような特徴が見られるのかを、「といい」と比べながら見ていくことにする。

5. 文の構造との関係から

まず、両形式が用いられる際の後続要素に注目する。

「ますように」は、終助詞などのモダリティ形式や接続形式が後続することがない。(31)のような文末での言い切りか、(32)のような引用かに限られる。

(31) あなたの頑張りが実を結ぶ日がきますように！(知恵袋)

(32) お願い。ああ、神様、なんとか見つかりますように、と祈る。(文学)

このことは、文の構造との関係から見た場合、「ますように」は文的度合いが高く、田窪(1987: 38)における「D = 発話 伝達レベル」であることを示していると言える。

一方、「といい」は、言い切りで用いられている例はごく一部であり、多様な後続要素がつく。「といい」の用例を後続要素によって分類したところ、表6のようになった。

表6 〈願望〉の「といい」の後続要素

後続要素	用例数	割合
ね	524	41.26%
のだが/けど	241	18.98%
な(あ)	201	15.83%
引用	111	8.74%
が/けど	76	5.98%
のに	34	2.68%
言い切り	25	1.97%
その他	58	4.57%
計	1,270	

「ね」「な」などの終助詞や「が」「けど」などの接続助詞が後続する場合はほとんどであることは、「といい」自体は伝達レベルではなく、「C = 主節 判断レベル」(田窪 1987: 38)であることを示すと考えられる。

次に、〈願望〉の「ますように」と「といい」が「～と(「って」を含む)」の形で引用された場合に後ろにどのような動詞をとるかに注目する。それぞれ「～と」の後続動詞によって分類したものが表7と表8である⁹⁾。

表7が示すように、「ますように」の引用の後続動詞は、「祈る」が最多で全体の3割以上を占め、「願う」が続く。「祈る」や「願う」は発話・発信を表す(声に出して祈る)場合と、思考・心内行為を表す(心の中で祈る)場合のいずれも含まれるが、ここで注目したいのは、「書く」「記す」「つぶやく」などのもっぱら発話・発信を表す動詞が少なくないことである。

(33) 「ずっと一緒に居れます様について書いてもいいですか?」(ブログ)

それに対して、表8の「といい」の引用の後続動詞においては、思考を表す「思う」が圧倒

表7 「ますように」の引用での後続動詞

祈る	39
願う	24
書く、記す	4
念じる	2
つぶやく	2
思う	2
その他	24
計	97

表8 「といい」の引用での後続動詞

思う	93
言う	5
考える	4
感じる	1
励ます	1
期待する	1
その他	6
計	111

的に多く、9割以上を占める。

(34) その見つめる行動を上手に出来るようになるといいなと思います。(知恵袋)

引用の場合の後続動詞についてのこのような傾向の違いは、上で見た、「ますように」が伝達レベル、「といい」が判断レベルであることと関連づけられるだろう。

6. どのような〈願望〉を表すか

6.1 「といい」

続いて、どのような〈願望〉を表すかという点について「ますように」を「といい」と比べてみたい。

先に「といい」から見る。5で述べたように、「といい」には終助詞などの多様な後続要素がつくが、それぞれの後続要素と組み合わせることによって、文の意味の違いが生じる。

以下、1)「といいな(あ)」、2)「といいね」、3)「といいが」「といいのだが」「といいのに」の3つの場合を取り上げる。

1) 「といいな(あ)」

非対話的な終助詞である「な(あ)」が後続した場合、話し手自身の〈願望〉を独話的に表出する表現となる¹⁰⁾。

(35) このまま、雨がやんでくれるといいな (ブログ)

2) 「といいね」

基本的に聞き手に対して用いられる「ね」が後続した場合は、話し手の〈願望〉について聞き手に同意を求める表現になると言える¹¹⁾。

(36) おいしいたけのこ料理が出来るといいですね (知恵袋)

このような意味の違いのある「といいな(あ)」と「といいね」の間には、どのような事態に対する〈願望〉を表すかという点でも違いが見られる。具体的には、だれに関わる事態についての〈願望〉を表すかについてである。

ここでは〈願望〉の対象となる事態を、話し手に関わる事態（以下、[話し手事態]）、聞き手に関わる事態（以下、[聞き手事態]）、第三者（もしくは不特定）に関わる事態（以下、[第三者事態]）の3つに分けて考える¹²⁾。

「といいな（あ）」は[話し手事態]と[第三者事態]について用いられ、「といいね」は[聞き手事態]と[第三者事態]について用いられる。

(37) 答えを調べてみたら結構感がさえてました。合格出来るかな〜？ 出来るといいな〜。
（ブログ）[話し手事態]

(38) 来場所は、朝青龍も復帰できるといいなあ。（ブログ）[第三者事態]

(39) 苦しいでしょうけど頑張って下さい。彼から連絡来るといいですね♪（知恵袋）[聞き手事態]

(40) 素晴らしい！ やっぱりやってくれたね！ これで日本選手も勢いがつくと良いですね。（ブログ）[第三者事態]

「といいな（あ）」が[聞き手事態]に、「といいね」が[話し手事態]に用いられることは通常ないと思われる。たとえば、(37)を「といいね」、(39)を「といいな（あ）」に置き換えると不自然になる。

(37) #合格出来るかな〜？ 出来るといいね！ [話し手事態]

(39) #彼から連絡来るといいなあ♪ [聞き手事態]

その理由は語用論的に説明できると思われる。すなわち、[話し手事態]の実現への〈願望〉について聞き手に同意を求めること（(37)）や、[聞き手事態]の実現への〈願望〉を（聞き手に向けずに）独話的に発すること（(39)）はいずれも不自然であるからであろう。

次に、3つ目の場合について見る。

3) 「といいが」「といいのだが」「といいのに」

逆接の接続形式である「が／けど」「のだが／けど」「のに」が後続した場合が(41)～(44)のようなものである。

(41) 関東北部付近に住んでる人、、、無事だといいけど……。一応ニュースではそんなに被害出てないようです。（ブログ）

(42) 「千秋、大丈夫かしら」「だといいんですが」（文学、『血い花』）

(43) いじめ、あかんよな。みんながそう思えるようになれるといいのに。（ブログ）

(44) 「あなたは、本当に頼もしい子ね。洋平も少しは、あなたを見習ってくれるといいのに……」洋平は、両親と兄の会話を立ち聞きしてしまいました。（文学、『リボン』）

グループ・ジャマシイ（1998：295）は、〈願望〉の「といい」について、「が／けど／のに」を伴う場合は、「実現しないかもしれない」という不安や、現状が希望する状態と異なるという含みがある」と述べているが、妥当な指摘だと思われる¹³⁾。ここでは、便宜的に「不安・不満を伴う願望」と呼んでおく。

以上、「といい」が後続要素との組み合わせによって見せる意味や用い方を見た。以下ではここで見たことに照らして、「ますように」を考える。

6.2 「ますように」

だれに関わる事態についての〈願望〉を表すかに関して、「ますように」の用例を見ると、以下のように、3つの場合のいずれも見られる。

- (45) 予想 気になる馬は多々ありますがとりあえずこの4頭でいこうと思います。当たりますように～！(ブログ) [話し手事態]
- (46) あなたにとって、お気に入りの書庫がみつきりますように……。 (ブログ) [聞き手事態]
- (47) まずは何も事件が起きないで終わることを願います。そして、日本の選手が活躍すること。野口みずき選手が金メダルが取れますように。(ブログ) [第三者事態]
- (48) はてさて……どんな春になるのやら。きっと、やさしい風の吹く、春になりますように♪ (ブログ) [第三者事態]

試しに6.1で見た「といいな(あ)」「といいね」の用例を「ますように」に置き換えてみると、いずれの文脈においても「ますように」を使用することができる。

- (37') 合格出来るかな～？ 出来ますように！ [話し手事態]
- (39') 彼から連絡来ますように♪ [聞き手事態]
- (40') これで日本選手も勢いがつきますように。 [第三者事態]

つまり、「ますように」は、だれに関する事態であるかについて、制限なく用いられるということが確認された。このことの原因をどう考えればよいだろうか。それは「ますように」が折りという形をとった願望表現であることと関わっているように思われる。ここでは十分に論じる用意がないが、今後、考察していきたい。

次に、6.1で見た「といいが」「といいのだが」「といいのに」で表される「不安・不満を伴う願望」について、「ますように」で表せるかを見てみよう。(41)～(44)を「ますように」に置き換えるのは難しいことが分かる。この文脈において使用できないわけではないが、不安・不満のニュアンスは表せない。

- (43') ? いじめ、あかんよな。みんながそう思えるようになれますように。
- (44') ? 洋平も少しは、あなたを見習ってくれますように

以上、「といい」が後続要素と組み合わせることによるさまざまな意味と「ますように」との対応関係を見ることで、「ますように」による〈願望〉の特徴について考えた。

7. 知恵袋とブログの用例から

最後に、知恵袋とブログの用例に改めて注目したい。4.2で見たように、この2つの〈ジャンル〉の間で、「ますように」と「といい」の出現状況の違いが顕著であるが、それはなぜだろうか。

まず、知恵袋で「といい」が多く用いられ、「ますように」の5倍程度も見られる点について考える。

「といい」の後続要素に注目すると、知恵袋の「といい」438件のうち319件が「といい（です）ね」の形である。それらの多くが、(49)のように、聞き手が求めている情報を提供した後、その情報が役立つことを願う文として用いられている。「といいね」によって話し手の〈願望〉について聞き手に同意を求めるということは、〈願望〉を話し手と聞き手との間で共有しようとするにつながるだろう。このような「といいね」の意味が、知恵袋の(49)のような文脈における〈願望〉の表し方に適合しているものと思われる。

(49) [つくしの調理法の説明] 子供が良く食べるのは、ハカマをとって水にさらして出汁、醤油、みりん¹で煮て卵でとじます。すぐに味が浸みますので薄めの味の方がいいかと思います。お子さん喜んでくれるといいですね。(知恵袋)

一方「ますように」を見ると、(50)のように、同様の用い方は見られるものの、「といい」ほど多くはない。これは、「ますように」が、祈るという形で話し手自身の〈願望〉を表出するのにとどまり、「といいね」のように〈願望〉を聞き手と共有するような働きをもたないからではないだろうか。

(50) 山の方では十月中に初冠雪なんて年もあるので、十分な準備をしておでかけください。玉川も乳頭温泉もすばらしいですよ。よいご旅行になりますように！(知恵袋)

次に、ブログにおいて「ますように」が「といい」より多く見られる点についてである。このことに関連するのが、「ますように」には、特定の信仰対象に向けた、まさに祈りと言うべき用い方があることである。前述のように、祈りと願望は明確に区別できるわけではないが、前後の文脈から祈りだと推察される例が少なからず見られる。特に、ブログにおける〈願望〉の「ますように」500件のうち80件程度が祈りと推察される例であった。

(51) 静かな状態にする：TVとラジオを消す。2. 祈る：神様感謝します。すべてのことに感謝します。地に平和が満ちますように!!! (ブログ)

(52) 主の限りない祝福が 水が海を覆うように 世界中にありますように。主の御心になりますように。イエス様のお名前と血潮にて祈ります。アーメン。(ブログ)

(53) 今日も一日嫌な事件や事故がありませんように。今日も平和な一日になりますように。南無釈迦牟尼仏。合掌。(ブログ)

これらの例は、ほかの願望表現に置き換えることができない。たとえば、(51)の「ますよう

に」を「といい」に置き換えると、(51')のように、祈りではなく、単なる願望の文になってしまう。

(51') #地に平和が満ちるといい。

このような「ますように」独自の用法で用いられた例が一定数あることが、ブログでの「ますように」の出現頻度の高さの一因になっていると見られる。

ここで「ますように」について見た2つの点は、いずれも「ますように」が祈りの形をとった願望表現であることと直結することがらだろう。

8. おわりに

以上、〈願望〉の「ますように」について考察してきた。要点をまとめておく。

- 1) 「ますように」は、祈りの形をとった願望表現ととらえることができる。
- 2) 「ますように」は、終助詞などのモダリティ形式や接続形式が後続することはなく、文的度合いの高い、伝達レベルの表現だと言える。
- 3) 「ますように」による〈願望〉には、次の特徴が見られる。
 - だれに関わる事態についての〈願望〉を表すかという点からは、[話し手事態] [聞き手事態] [第三者事態] のいずれにも用いることができる。
 - 「不満・不安を伴う願望」には用いにくい。

本稿では、「といい」と比べることにより、〈願望〉の「ますように」の特徴をいくつか見出すことができたが、それらの特徴と「ますように」が祈りの形をとる願望表現であることの関連については考察を深めることができなかった。今後の課題としたい。また、本稿で得られた観点を生かして、ほかの願望表現を考察することにより、願望表現の包括的な研究につなげていきたい。

注

- 1) 日本語文法学会編(2014:250)には、「雨、雨、降れ、降れ」のような文について「話し手の願望や祈りを表す祈願文/願望文」という記述が見られる。祈願文と願望文を同義として扱っている例と言える。
- 2) 話し言葉である「日本語日常会話コーパス(CEJC)」における「ますように」を検索したところ、検索結果が6件、うち文末用法は3件であった。PMW(100万語あたりの出現率)は1.2となる(CEJCの総語数:2,419,171)。BCCWJ全体に現れた文末用法の「ますように」が954件(4.1参照)であり、PMWが9.1となることから、話し言葉よりも書き言葉での使用のほうがはるかに多いことが確認できる。また、CEJCの3件についても、うち2件は、書かれたものを発話者が読み上げていると思われる文に現れたものであった。

- 3) 「といい」の類義表現に「ばいい」「たらしい」があるが、ここでは「といい」のみを取り上げる。「といい」と「ばいい」「たらしい」の異同については、高梨(2010:58-62)において述べられている。
- 4) 〈当為判断〉とは、「何々するべきだ、何々するべきでない」といった表現に代表される、人の行為の妥当性、必要性、もしくは許容性についての判断と考える(高梨 2010:48)。
- 5) 前述のように、事態が実現しないことを願う「ませんように」は考察対象に含めない。なお、BCCWJにおける「ませんように」を検索してみたところ、検索結果が215件、うち文末用法は183件であり、「ますように」の10分の1以下であった。
- 6) 考察対象外となる、そのほかのタイプとして、①②のような前田(2006)の「ように」節の〈類似事態〉に該当するものも見られた。
 - ① そういう形になりますと、この下を書いてありますように、出産期が教育期間とダブるように、かぶるようになってくると非常に出産がしやすい。(国会会議録)
 - ② 平成七年度の一般会計予算におきます歳出は、そこにありますように、総額で七十兆九千八百七十一億円でございます。(国会会議録)
- 7) 複文とみなせるものは次の①、②のようなもの、誤解析は③のようなものである。
 - ① 借金するといひことひとつもないっすね
 - ② また、YAHOOの検索で「翻訳サイト」と入力して検索するといひのがありました。
 - ③ それでも保険金は全額とれるといひ、とらなければ損だといひ、ゆずらなかつた。
- 8) 〈ジャンル〉の分け方は野田編(2016)にならう。具体的には、BCCWJのレジスタを基本としつつ、そのうちの「書籍」と「ベストセラー」を併せた上で「文学」と「文学以外」に分類し直した。
- 9) それぞれの動詞には、「～との願い」「～という祈り」のような名詞化したものも含まれる。また、表7・表8の「その他」には、①のように「と(って)」で文が終わる場合や、②のような、発言や思考を表す動詞を伴わない「付加的引用」(日本語記述文法研究会 2008:32)に当たるものが含まれる。
 - ① 最初はほくたちのホームページに人を集めたかっただけなんです。なにかみんながつかえる便利なツールがあるといひなつて。(雑誌、『別冊文芸春秋』)
 - ② この1年が しあわせに くらせますようにと かく家ていを 回って おどります。(文学以外、『きせつ』)
- 10) 野田(2002:283)は、「な(あ)」の機能・性質について、「下降イントネーションの「な(あ)」は、独話で用いられ、感情などを、話し手自身があらためて確認することを表す」としている。
- 11) この場合の「ね」は、野田(2002:279)が下の例を挙げて〈同意要求〉の用法と呼んでいるものに該当すると思われる。
 - 「日が伸びましたねえ」
- 12) ここでいう「だれに関わる事態か」は、「動作主がだれか」とは異なる。たとえば、(39)の「彼から連絡が来る」という事態は、動作主は聞き手ではないが、聞き手にとって望ましい事態であると考えられるため、[聞き手事態]とする。これらの分類は作業仮説的なものであり、今後検討する必要がある。
- 13) 厳密には、「が／けど」「のだが／けど」「のに」の3つの間に細かな意味の差異が感じられるが、ここでは問題にしない。なお、これらの形式にさらに「ね」や「な(あ)」が後接することもある。

「ますように」(高梨)

付記

本研究は、科学研究費助成金基盤研究(C)2019-2023年度「気づかれにくい文法的類義表現の研究」(課題番号:19K00637, 研究代表者:高橋美奈子)の助成を受けている。

資料

「現代日本語書き言葉均衡コーパス中納言版(BCCWJ)」 <https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj/>
「日本語日常会話コーパス(CEJC)」 <https://www2.ninjal.ac.jp/conversation/corpus.html>

引用文献

- 奥田靖雄(1985)「文のさまざま(1)文のこと」『教育国語』80, pp.41-49, むぎ書房
- グループ・ジャマシイ(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- 徐愛紅(2001)「希望表明形式による意志表示—日中両語を対照して—」『日本語教育』109, pp.70-79, 日本語教育学会
- 高梨信乃(2010)『評価のモダリティ—現代日本語における記述的研究』くろしお出版
- 高梨信乃(2020)「「てほしい」はどのように用いられているか」『外国語学部紀要』23, pp.43-58, 関西大学外国語学部
- 高梨信乃(2022)「「ないかな」—願望表現の包括的記述にむけて—」『外国語学部紀要』27, pp.15-31, 関西大学外国語学部
- 田窪行則(1987)「統語構造と文脈情報」『日本語学』6-5, pp.37-48, 明治書院
- 仁田義雄(1991)『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房
- 日本語記述文法研究会(2003)『現代日本語文法4 第8部モダリティ』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会(2008)『現代日本語文法6 第11部複文』くろしお出版
- 日本語文法学会編(2014)『日本語文法事典』大修館書店
- 野田春美(2003)「終助詞の機能」宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃『新日本語文法選書4 モダリティ』pp.261-288, くろしお出版
- 野田春美編(2016)『日本語のモダリティのコーパス調査報告—『現代日本語文法』の記述の検証—」(科学研究費研究成果報告書)
- 林四郎(1960(2013復刊))『基本文型の研究』ひつじ書房
- 前田直子(2006)『「ように」の意味・用法』笠間書院
- 益岡隆志(2006)「「～タイ」構文における意味の拡張—願望と価値判断」益岡隆志・野田尚史・森山卓郎編『日本語文法の新地平2—文論編』pp.63-76, くろしお出版
- 宮崎和人(2006)「「まちのぞみ文」について—「シタイ」と「シヨウ」—」益岡隆志・野田尚史・森山卓郎編『日本語文法の新地平2—文論編』pp.41-61, くろしお出版
- 吉川武時(2007)「祈りの文型」 <https://www.liuxue86.com/a/210318.html> (2023.3.9閲覧)

